

河川環境改善計画概要版～水元小合溜のこれからの水環境に向けて～

1. 本計画の目的

水元小合溜では、夏季にヒシ類やハスなどの水生植物が一面を埋め尽くしており、景観を損なうばかりか、毎年の刈取りによって管理コストが増大し、大きな問題となっている。さらに、既設の水質浄化施設が老朽化することによって、維持管理費が増大している。そこで、本計画の目的を以下のように定めた。

本計画の目的

- ▶ 水元小合溜の貴重な環境（生態系・水郷景観）を次世代に向けて継承していく。
- ▶ トータル・コストを縮減し、より効果的・効率的に水元小合溜の管理を行っていく。

水元小合溜の現状

ハス (H29.7)



ヒシ類 (H29.8)



2. 水元小合溜の概要

水元小合溜は、東京都葛飾区および埼玉県三郷市の境界を流れる準用河川である。水域面積は 25.5ha、延長は約 3.6km、平均水深は約 1.1m である。

様々な生物の生息・繁殖の場となっており、都内にありながら豊かな生態系にあふれる貴重な空間である。

水元小合溜のかわせみ



3. これまでの取り組み

水質浄化対策事業「カムバックかわせみ作戦」は、昭和 30 年代に見られた豊かな水辺環境の回復を目標として、平成元年から現在まで実施されている。

カムバックかわせみ作戦

- ▶ 水生植物帯の造成
- ▶ 中川からの取水
- ▶ 浄化施設および循環施設の設置・稼働（水質浄化センター、循環施設、エアレーション施設など）

4. 水環境改善に向けた基本的な考え方と目標

本計画では、地域住民や水元公園の利用者の意見を踏まえて、以下の目標を設定した。

望ましい水環境を実現するための目標

- ▶ 豊かな自然・生態系の保全（在来の生物が生息できる環境の保全、水生植物種の単一化防止）
- ▶ 水郷景観・親水環境の保全（持続的な水面の維持、透明度の向上、水質の劣化や悪臭の防止）
- ▶ 維持管理の効率化（トータル・コストの縮減）

5. 対策内容

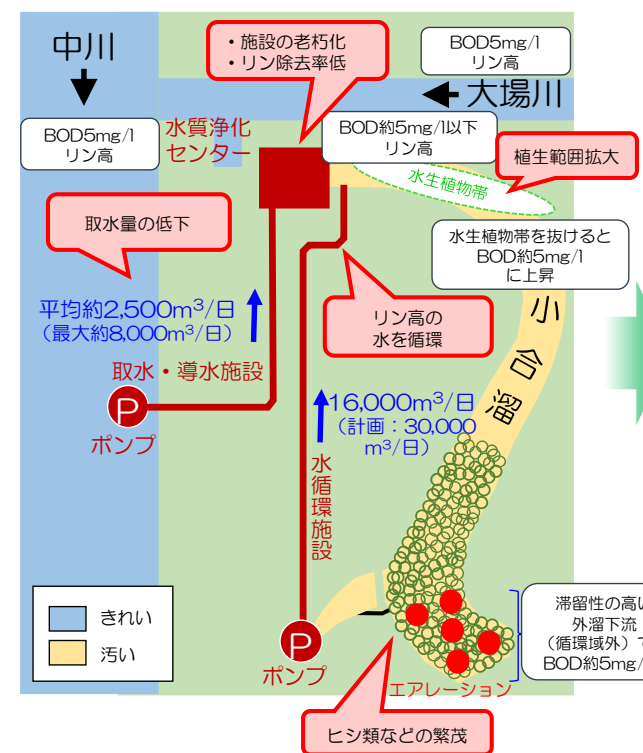
平成 29 年度に実施した調査の結果、水元小合溜の取水先である中川に、水生植物の栄養となる「リン」などが多く含まれていることがわかった。「リン」は、現在の浄化施設で取り除くことが困難である。したがって、本計画では以下のような水質浄化対策を提案する。

新たな水質浄化対策

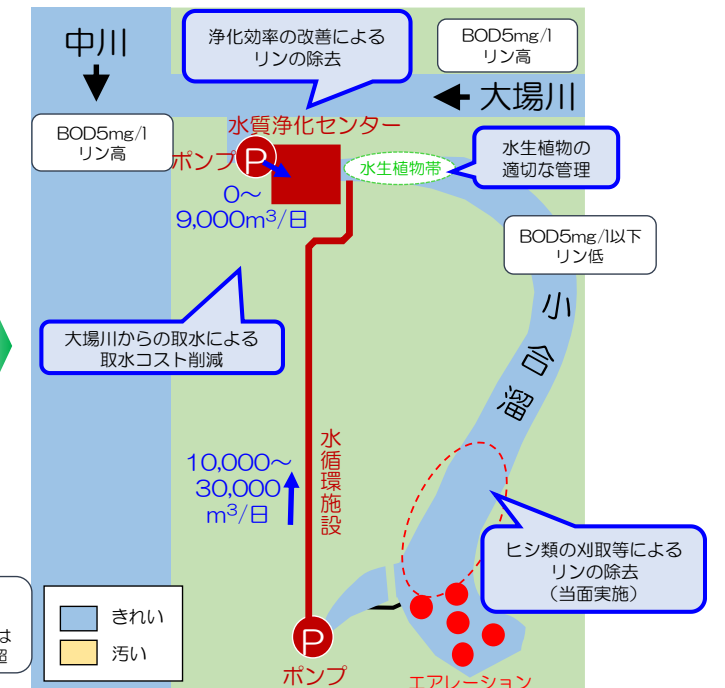
- ▶ 大場川から取水する ⇒ 取水効率の向上
- ▶ 浄化施設を更新する ⇒ 植物繁茂の原因となる「リン」の除去、維持管理コストの削減

水元小合溜の現況と対策案

【現況】



【河川環境改善計画】



6. 実施スケジュール※

	対策の内容
平成 32 年度末まで	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大場川からの取水工事 ▶ 水質浄化センターの改修工事
平成 34 年度末まで	<ul style="list-style-type: none"> ▶ (必要に応じて) 既存施設の有効活用方法の見直し ▶ (必要に応じて) 水生生物の適切な管理方法の見直し
定期的実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 水環境モニタリング (水質・水生生物) ▶ 住民や環境団体との協働 ▶ 情報の収集、保存 ▶ 情報発信
状況によって実施を判断	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 水生植物 (ヒシ類やハス等) の刈取り

※ 状況により変更することがあります。